

DXハイスクール 取組事例



山形県立酒田光陵高等学校
(公立・普通科、工業科、
商業科、情報科)



「デジタルおよびデータ活用への興味・関心を高める」

取組

情報Ⅱの必修とAIデータサイエンス教育の充実

普通科 情報Ⅱ 必須科目へ (令和7年度入学生より)

「情報科」で使用している高度なデジタル技術の活用と専門学科教員の支援による、創造的に問題解決を図る探究活動の充実

情報科 学校設定科目「AIとデータサイエンス」 (令和4年度入学生より)

「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」応用基礎レベル程度の学習を行い、問題解決につながる基礎能力の育成を目指す

工業科商業科 職業系科目での数理・AI・データサイエンスの充実

3年次総合選択「AIとデータサイエンス」の開講

情報Ⅱ等の履修後に「AIとデータサイエンス」の実践的な学習を行う
外部講師(AIエンジニアや大学等)との連携による、実習カリキュラムの開発と講義

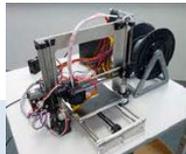
日常的な探究活動を推進するデジタル環境整備



- デジタルファブリケーションルームの整備
・3Dプリンター、レーザーカッター、3Dスキャナ、UVプリンター等
- 探究活動に適した情報教室の環境整備
- 動画撮影・配信を行うスタジオ環境整備
・モーションキャプチャー、カメラ、スイッチャー、グリーンバック等



- 地域の小中学生を対象としたデジタル教室の開催
・情報みらい工房 (AI・マインドストーム・IoT 等)
・プログラミングラボ (プログラミングを中心とした教室)
- デジタルファブリケーションルームの開放



育成する生徒像・取組による効果



普通科：DX時代においてデジタル技術を活用し、主体的に関わることのできる人材
工業科・商業科：DX時代に対応できるスペシャリストの育成
情報科：データやAIを活用し、新たな価値を創造しDX革命を起こすスペシャリストの育成

令和10年度

・大学理系学部進学率大学進学率 目標値20%

令和8年度

・情報Ⅱ等を必須科目として開設 目標値100%



教員向け研修・生徒向け講習の充実



情報科だけでなく、他教科も含めたAI・データサイエンス・DX研修を行い、各教科でDXを意識した授業展開を進めることで、生徒の実践的な問題解決能力の育成を目指す

教員向け研修

- 大学教授によるAI・データサイエンス・デジタル技術に関わる研修
- 光陵DXプロジェクトの定期的な開催 (毎月)
・各教科からICTやAI等を積極的に活用するための教員研修

生徒向け研修

- データサイエンスサマーキャンプの実施
・スタートアップ企業の講師によるデータサイエンスの特別講習
- AI・データサイエンス講義の実施

小・中学生が集まるSTEAM教育の拠点に